

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	前立腺癌放射線治療における小腸陥入の影響に関するシミュレーション研究 (B23-084)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部放射線科学「放射線腫瘍学」 教授 石山博條
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>前立腺癌に対する標準治療の一つとして手術やホルモン療法、放射線治療があり、これらを単独もしくは併用して治療が行われています。手術によって前立腺を摘除した場合、術後に前立腺特異抗原の上昇が見られる場合があります。このような症例に対しては救済目的の外部放射線治療が考慮されます。</p> <p>また、近年では定位放射線治療も標準治療の一つとして普及しています。これは照射回数が従来よりも少なく設定されており、一度に高線量を投与する治療法となります。</p> <p>上記のどちらの治療法においても、正常組織に対する有害事象を考慮しながら治療範囲を決定する必要があります。従来だと前立腺の周囲にある膀胱や尿道、直腸が守るべき正常組織として定義されますが、場合によっては小腸も近接していることがあります。その際は、小腸に対して線量を減らすように調整しています。</p> <p>この研究では、過去に前立腺癌に対する放射線治療を実施した患者さんに対して、従来の方と小腸に近い部分を考慮した方法の2つの治療計画を行い、それぞれの計画において線量体積ヒストグラムを解析することで前立腺に対する影響を調査します。</p>
調査データ 該当期間	2012年7月1日から2025年9月30日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に当院で前立腺に対する救済放射線治療もしくは定位放射線治療を実施した方
研究の方法 (使用する試料等)	2012年7月1日から2025年9月30日までの電子カルテに記載のある診療記録(PSA値や病期、病理診断結果)、検査データ(放射線治療計画に使用するCT画像および輪郭情報やプラン情報)を利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究の遂行のための費用は、一般研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：放射線科学「放射線腫瘍学」講師 担 当 者：中野正寛(ナカノマサヒロ) 電 話：042-778-8111</p>
<p>備 考</p>	